

3 環境に関する市民・事業者意識調査 集計結果

調査の概要

■ 調査期間

平成 29 年 8 月 1 日～8 月 31 日

■ 調査方法

- ・本調査は無記名式のアンケート調査により実施しました。
- ・アンケート調査票は郵送により送付／回収しました。
- ・アンケートの回答方式は基本的に選択式で、一部に記述式を含みます。

■ アンケート送付先の抽出方法

市民意識調査 : 年代別及び住居地域別（下記参照）の層化抽出

事業者意識調査 : 業種等を考慮した抽出

居住地域区分

地 区	地 域 区 分	配布割合 (人口割)
NT 中央	小倉台、大塚、牧の木戸、木刈、内野、武西学園台、原山、高花、戸神台 中央北、中央南	36.8%
印西牧の原	東の原、西の原、牧の原、原、滝野	19.2%
木下・大森	木下、竹袋、別所、宗甫、木下東、木下南、平岡、大森、鹿黒、亀成、発作、相嶋 浅間前、鹿黒南	12.2%
小 林	小林、小林浅間、小林大門下、小林北	7.7%
永 治	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉	1.5%
船 穂	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台、結縁寺、多々羅田	1.7%
草 深	草深、泉	3.5%
六 合	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫、平賀、平賀学園台	6.4%
宗 像	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田、(つくりや台)	2.5%
印旛日本医大	美瀬、若萩、舞姫	5.0%
本 郷	中根、荒野、角田、竜腹寺、滝、物木、笠神、(みどり台)	2.0%
埜 原	行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木 中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林	1.5%

■ アンケート集計方法

- ・択一式の設問では、各選択肢の選択割合（各選択肢の選択数 ÷ 回答数）及び無回答の割合（無回答数 ÷ 回答数）を集計しました。
- ・複数選択式の設問では、各選択肢の選択数及び無回答の数を集計しました。
なお、複数選択式の設問では、回答数と回答者数は一致しません。
- ・本書では回答割合を百分率で小数第 1 位まで表示（小数第 2 位を四捨五入）しているため、各選択肢の合計が 100%にならない場合があります。
- ・居住地域区分を、新市街地（NT 中央、印西牧の原、印旛日本医大）、市街地・集落混在（木下・大森、小林、六合）、集落（永治、船穂、草深、宗像、本郷、埜原）に分け、居住地区としています。

■ アンケート回収率

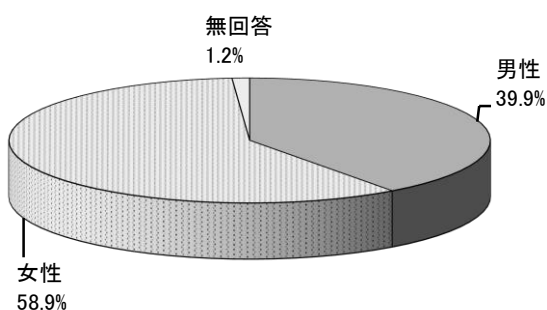
	市民	事業者
発送数	2,000	200
回収数	673	66
回収率	33.7%	33.0%

市民意識調査の結果

1 回答者の属性

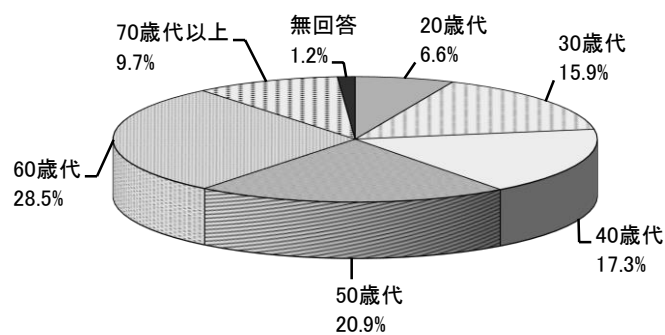
問1-1 あなたの性別はどちらですか。(1つ選択/2選択肢)

回答数 673



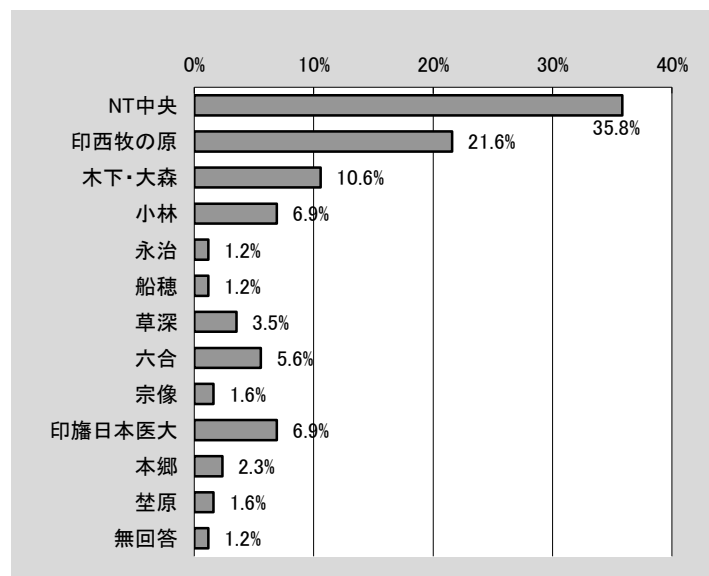
問1-2 あなたの年齢は何歳ですか。(1つ選択/6選択肢)

回答数 673



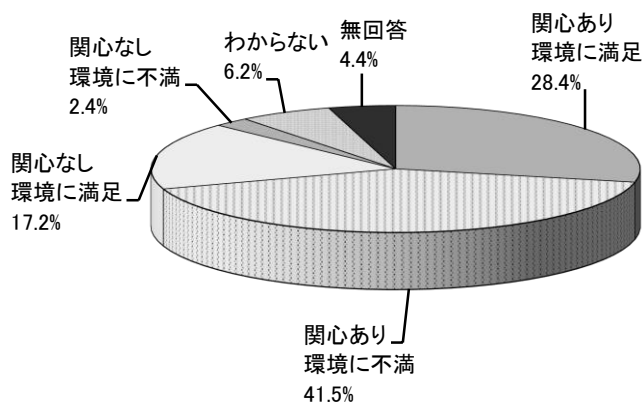
問1-3 お住まいの地区はどこですか。（1つ選択／12選択肢）

回答数 673



問1-4 環境問題に関心がありますか。また、環境に満足していますか。（1つ選択／5選択肢）

回答数 651



回答者の性別は、女性が 58.9%、男性が 39.9%でした。

年齢層は、50～60 歳代の回答が多く、全体の約 49%を占めました。

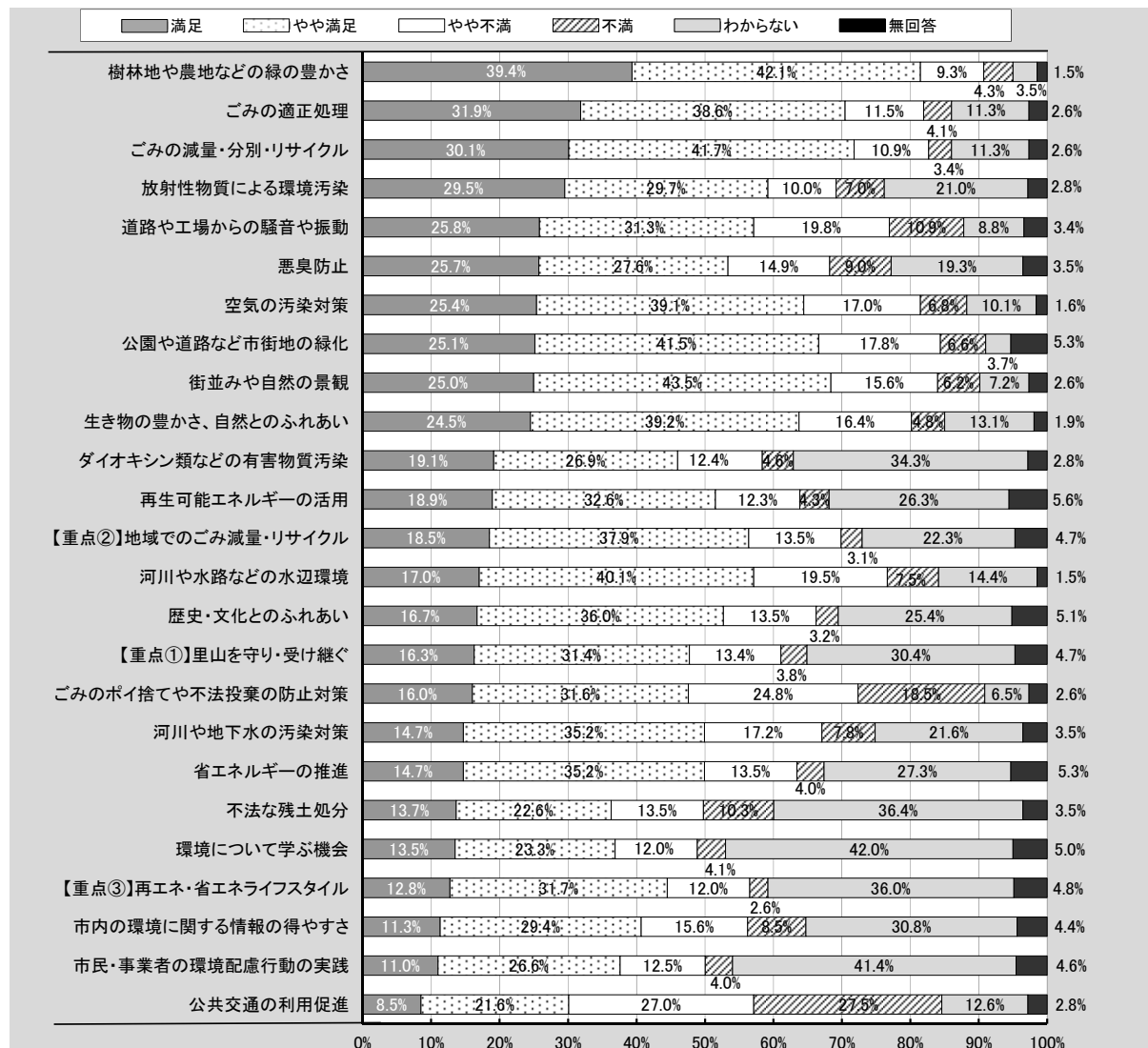
居住地域は人口分布に概ね比例した結果となり、千葉ニュータウン地区が多い点はこれまでの調査と同様の結果でした。

環境に関心がある人は 69.9%で、関心のない人を上回っていましたが、そのうち環境に不満と回答した人は 41.5%でした。

2 印西市の環境について

問2-1 あなたは市内の環境に満足していますか。
また、その環境を保全、対策をすることがどの程度重要だと思いますか。
(1つ選択/5選択肢)

○満足度



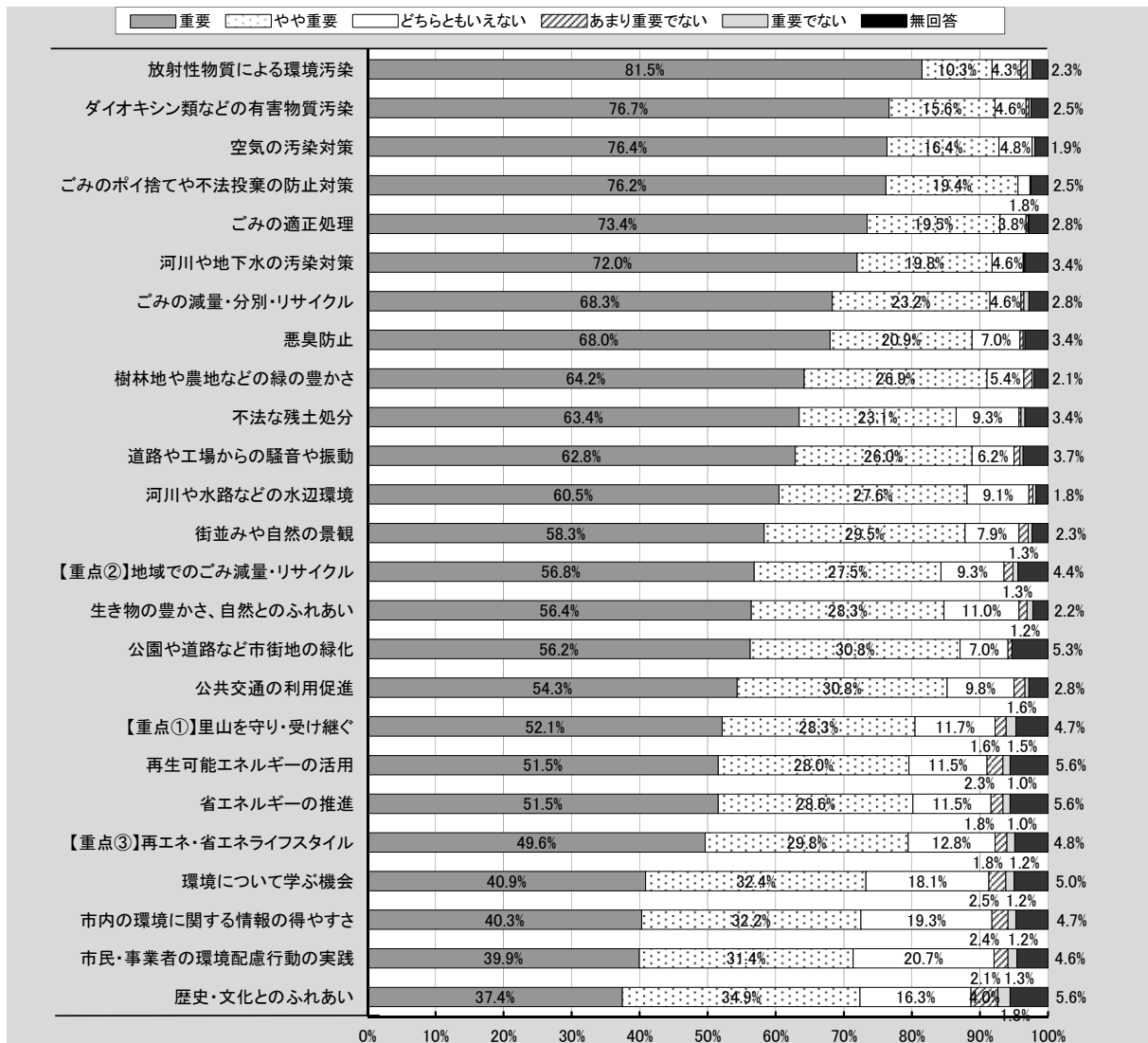
※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「樹林地や農地などの緑の豊かさ」は、39.4%の人が『満足』と回答しており、『やや満足』を含めると約8割の人が満足と感じていました。また、「ごみの適正処理」「ごみの減量・分別・リサイクル」も満足の割合が高い結果でした。

『やや不満』『不満』の回答が多かったのは「公共交通の利用促進」で5割以上の人が不満に感じており、次いで「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」で4割以上の方が不満に感じていました。

また、『わからない』の回答が3～4割を占める項目も多くなっていました。

○重要度



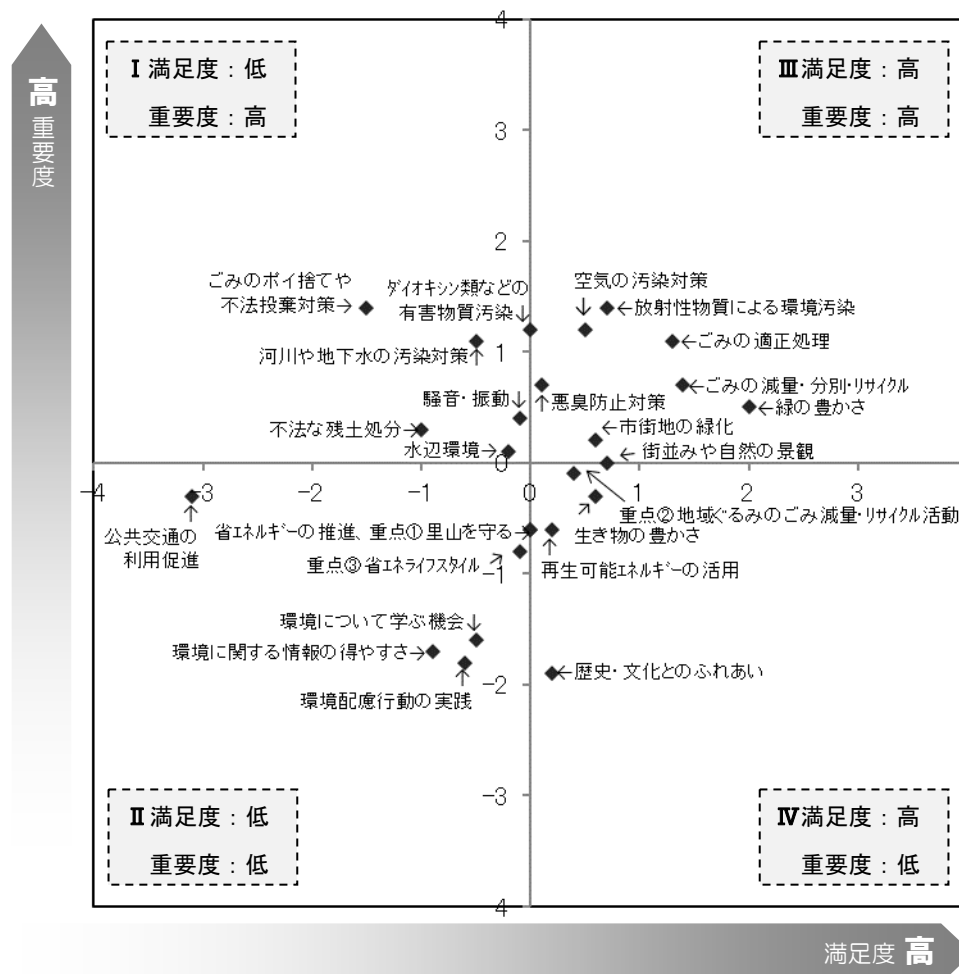
※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「放射性物質による環境汚染」は『重要』の回答が8割以上であり、次いで「ダイオキシン類などの有害物質汚染」「空気の汚染対策」と、安心・安全な生活の基盤となる項目で重要度が高い結果となりました。

一方、「歴史・文化とのふれあい」「市民・事業者の環境配慮行動の実践」「市内の環境に関する情報の得やすさ」「環境について学ぶ機会」は他の項目と比べて重要という回答が少ない結果でした。

○満足度・重要度マップ

各項目の満足度と重要度から標準化得点マップを作成し、グループ化しました。



I. 重点改善項目（満足度が低く、重要度が高いグループ）

「ごみのポイ捨てや不法投棄対策」「河川や水路などの水辺環境」「道路や工場からの騒音・振動」
「河川や地下水の汚染対策」「不法な残土処分」「ダイオキシン類などの有害物質汚染」

II. 改善項目（満足度が低く、重要度が低いグループ）

「市民・事業者の環境配慮行動の実践」「環境に関する情報の得やすさ」「環境について学ぶ機会」
「公共交通の利用促進」「省エネルギーの推進」「重点①里山を守り・受け継ぐ」
「重点③再エネ・省エネライフスタイル」

III. 重点維持項目（満足度が高く、重要度も高いグループ）

「空気の汚染対策」「悪臭防止対策」「放射性物質による環境汚染」「公園や道路など市街地の緑化」
「ごみの適正処理」「ごみの減量・分別・リサイクル」「樹林地や農地などの緑の豊かさ」

IV. 維持項目（満足度が高く、重要度は低いグループ）

「生き物の豊かさ、自然とのふれあい」「街並みや自然の景観」「歴史・文化とのふれあい」
「再生可能エネルギーの活用」「重点②地域ぐるみでのごみ減量・リサイクル活動」

問2-2 市内の「残したい環境」、「改善したい環境」を自由にご記入ください。

○残したい環境

回答数 170人

分類	意見数	主な意見・場所など
自然環境・里山 動植物	118	本笠の白鳥田、原付近の谷津、草深の森(奇跡の原っぱ)、 結縁寺付近の里山、武西地区の里山、牧の原近くの空き地(464号沿い) ※市内全体の自然や里山についての意見が多い
公園	51	北総花の丘公園、松虫姫公園、滝野公園、草深公園、大塚前公園、 松山下公園、浦幡新田公園、双子公園
水辺	22	印旛沼、鹿黒川、利根川、亀成川、調整池
まちの景観	19	日医北総病院～師戸干拓(印旛沼公園)の印西市アジサイロード、 小林牧場の桜並木、牧の原駅前のメタセコイア、千葉ニュータウン大橋
田園風景	10	戸神～武西、安食ト杭～酒直ト杭～下井、印旛沼周辺
文化	5	木下貝塚、結縁寺
その他	28	空気のきれいさ、草深の市民農園

○改善したい環境

回答数 227人

分類	意見数	主な意見・場所など
雑草等の管理	54	牧の原、国道464号沿い、笠神地区、NT中央駅、平賀地区、亀成川沿い、 利根川沿い、あじさいロード、印旛支所前など
公害	48	大気(野焼き、大型トラックの排気ガスなど) 水質(印旛沼、平賀学園台地区の調整池など) 騒音・振動(深夜のバイク、早朝の大型トラックなど) 悪臭(滝野、手賀川、手賀沼、鹿黒川、古新田川、クリーンセンター、 結縁寺前の池、小林中学校の水路など)
まちの整備	35	街灯が少ない、街灯が明るすぎる、街路樹が手入れされていない、 ゴミ箱・ベンチが少ない、大森・木下地区に歩行者道がない など
交通	32	道路整備(松崎高野台地区、松山下公園付近・柏方面、国道464号線 牧の原、船穂地区など) 交通量増加・渋滞、大型トラック規制など
有害鳥獣、虫 外来生物	23	イノシシ、調整池のザリガニ、千葉NT付近のムクドリ、松虫姫公園の虫、 印旛沼のカミツキガメ・ブラックバス・ブルーギル・アカミガメなど
ポイ捨て 不法投棄	23	交通量の多い道路、河川敷、調整池周辺、印旛日本医大駅、 戸神台西街区公園、花の丘公園など
公園の管理	14	松虫姫公園、草深公園、花の丘公園、浦幡新田公園など
モラル・マナー	7	歩きたばこ、路上駐車、ペットのフンなど
開発による 自然の減少	6	森林が少なくなった、草深の田園風景がなくなっている、 亀成川の生きものが見られなくなった、ソーラーパネルが増えている など
その他	39	水辺の整備、耕作放棄地の増加、砂ぼこり、上下水道整備、 若萩交差点付近の事故率の増加、空家の増加など

「残したい環境」としては、里山を含む自然環境、動植物の保護についての意見が最も多くあげられ、特定の場所ではなく市内全体についての意見が多く、「自然豊かな印西市」に対する愛着が強い傾向がみられました。そのほか、身近な公園や水辺、まちの景観などといった回答が多くあげられました。

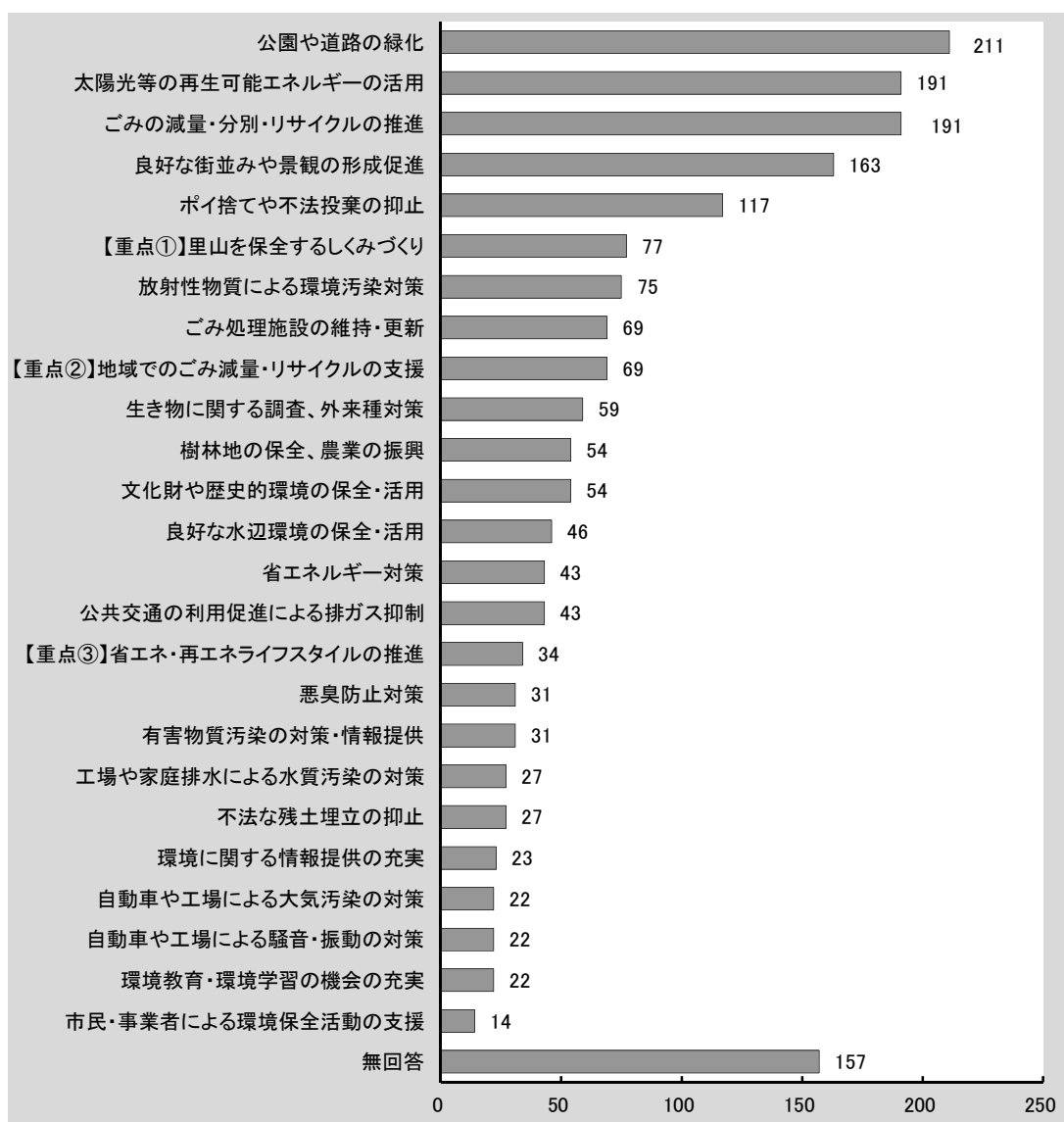
「改善したい環境」としては、雑草等の管理に関する意見が最も多く、特に道路脇の草刈りがされておらず、通行の妨げになっているという回答が具体的な場所をあげて多く寄せられました。次いで、公害に関する意見が多く、中でも悪臭に関する意見は具体的な地名や発生源を含め多くの回答がありました。また、河川・池などの水質、バイクや大型トラックからの騒音などの意見がありました。街灯や街路樹など、まちの整備に関する意見、整備が必要な道路が具体的に多数あげられた交通に関する意見、有害鳥獣や外来生物、ポイ捨て・不法投棄など、改善したい環境は多岐にわたっていました。

3 市の取り組みについて

問3 現在、市が取り組んでいる環境施策のうち、ここ数年でよくなったと感じる施策と、今後とくに力を入れてほしいと考える施策はなんですか。
(5つ選択/25選択肢)

○ここ数年でよくなった施策

回答数 1,715 (524人)



※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「公園や道路の緑化」が最も多く、次いで「太陽光等の再生可能エネルギーの活用」「ごみの減量・分別・リサイクルの推進」「良好な街並みや景観の形成促進」「ポイ捨てや不法投棄の抑止」の回答数は100を超えており、取組が評価されていました。

一方、大気・水質・騒音振動といった公害に関する項目のほか、「環境教育・環境学習の機会の充実」「市民・事業者による環境保全活動の支援」の回答は少なくなっていました。

【性別・年齢別・居住区別集計】

		1位	2位	3位
性別	男性	公園や道路の緑化 (27.9%)	太陽光等の再生可能エネルギーの活用 (27.6%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (23.9%)
	女性	公園や道路の緑化 (33.7%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (31.4%)	太陽光等の再生可能エネルギーの活用 (28.9%)
年齢別	20歳代	公園や道路の緑化 (40.0%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (33.3%)	良好な街並みや景観の形成促進 (31.1%)
	30歳代	公園や道路の緑化 (29.6%)	太陽光等の再生可能エネルギーの活用 (27.8%)	良好な街並みや景観の形成促進 (24.1%)
	40歳代	太陽光等の再生可能エネルギーの活用 (32.2%)	公園や道路の緑化 (29.7%)	良好な街並みや景観の形成促進 (21.1%)
	50歳代	公園や道路の緑化 (38.0%)	太陽光等の再生可能エネルギーの活用 (33.8%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (33.1%)
	60歳代	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (32.0%)	公園や道路の緑化 (28.9%)	良好な街並みや景観の形成促進 (27.3%)
	70歳代以上	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (24.2%)	公園や道路の緑化 (21.2%)	太陽光等の再生可能エネルギーの活用 ポイ捨てや不法投棄の抑止 (16.7%)
居住区別	新市街地	公園や道路の緑化 (34.5%)	太陽光等の再生可能エネルギーの活用 (32.0%)	良好な街並みや景観の形成促進 (28.1%)
	市街地 集落混在	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (37.6%)	公園や道路の緑化 (24.8%)	良好な街並みや景観の形成促進 (19.1%)
	集落	太陽光等の再生可能エネルギーの活用 (29.5%)	公園や道路の緑化 (26.9%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (21.8%)

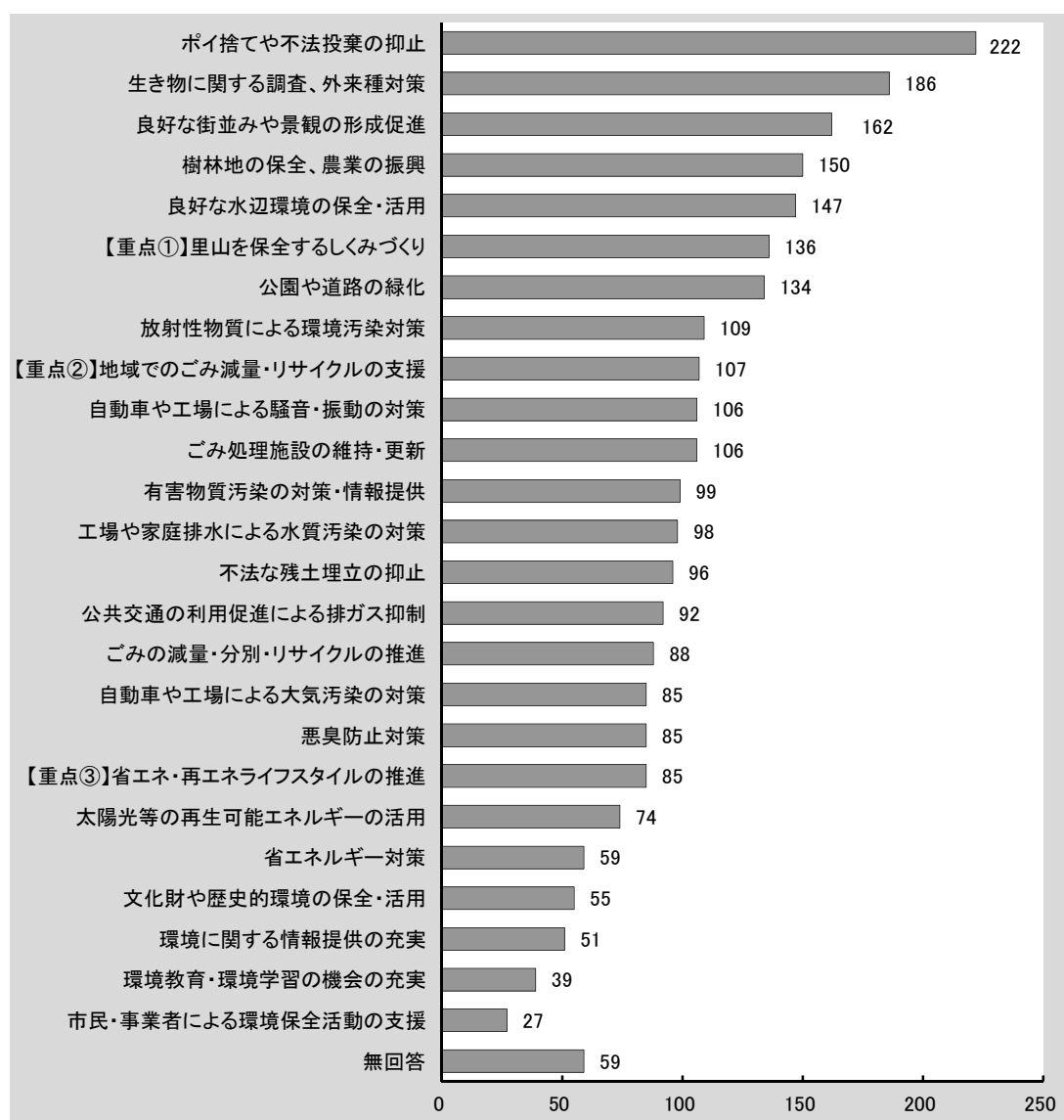
ここ数年でよくなった施策は、順位が多少異なりましたが、男性女性共に「公園や道路の緑化」、「太陽光等の再生可能エネルギーの活用」、「ごみの減量・分別・リサイクルの推進」の3施策があげられました。新たにベスト3となった施策は、男性の2位と女性の3位にあたる「太陽光等の再生可能エネルギーの活用」でした。反対に、前回調査で男性と女性ともに3位だった「良好な街並みや景観の形成促進」がベスト3から外れました。

年齢別では、「公園や道路の緑化」が全世代で2位以上にあげられました。「良好な街並みや景観の形成促進」は、20～40歳代、60歳代で3位に入っており、比較的若い世代でより評価されている施策でした。

居住区別の1位は、新市街地では「公園や道路の緑化」、市街地集落混在では「ごみの減量・分別・リサイクルの推進」、集落では「太陽光等の再生可能エネルギーの活用」と地区毎に異なり、地域の居住環境の差がみられました。

○今後力を入れてほしい施策

回答数 2,598 (622人)



※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

最も意見の多かったのは「ポイ捨てや不法投棄の抑止」となり、近年の市の取組が評価されている反面、今後も引き続き対策が求められていました。次いで、「生き物に関する調査、外来種対策」となり、生き物との共存に関して高い関心が寄せられています。また、「良好な街並みや景観の形成促進」「樹林地の保全、農業の振興」にも多くの回答がありました。

一方、環境教育や情報提供といった「人づくり」に関する項目は回答が少なくなっていました。

【性別・年齢別・居住区別集計】

		1位	2位	3位
性別	男性	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (34.6%)	良好な街並みや景観の形成促進 (27.6%)	生き物に関する調査、外来種対策 (26.1%)
	女性	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (31.9%)	生き物に関する調査、外来種対策 (28.7%)	良好な街並みや景観の形成促進 (21.7%)
年齢別	20歳代	生き物に関する調査、外来種対策 ポイ捨てや不法投棄の抑止 (37.8%)	良好な街並みや景観の形成促進 (28.9%)	樹林地の保全、農業の振興 (26.7%)
	30歳代	生き物に関する調査、外来種対策 ポイ捨てや不法投棄の抑止 (30.6%)	樹林地の保全、農業の振興 良好な街並みや景観の形成促進 (27.8%)	良好な水辺環境の保全・活用 自動車や工場による大気汚染の対策 (23.1%)
	40歳代	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (35.6%)	良好な街並みや景観の形成促進 (33.1%)	生き物に関する調査、外来種対策 (30.5%)
	50歳代	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (31.0%)	公園や道路の緑化 (23.9%)	良好な水辺環境の保全・活用 生き物に関する調査、外来種対策 【重①】里山を保全するしくみづくり (21.8%)
	60歳代	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (32.5%)	生き物に関する調査、外来種対策 【重①】里山を保全するしくみづくり (25.8%)	樹林地の保全、農業の振興 (23.7%)
	70歳代以上	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (33.3%)	生き物に関する調査、外来種対策 (28.8%)	良好な水辺環境の保全・活用 (24.2%)
居住区別	新市街地	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (29.7%)	生き物に関する調査、外来種対策 良好な街並みや景観の形成促進 (26.5%)	樹林地の保全、農業の振興 (21.2%)
	市街地 集落混在	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (39.5%)	生き物に関する調査、外来種対策 (28.0%)	良好な街並みや景観の形成促進 (24.8%)
	集落	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (38.5%)	生き物に関する調査、外来種対策 (33.3%)	樹林地の保全、農業の振興 (30.8%)

今後力を入れてほしい施策として、男性女性共に「ポイ捨てや不法投棄の抑止」が1位でした。前回調査で、男性と女性それぞれ1位だった「公園や道路の緑化」と「放射性物質による環境汚染対策」は、今回調査ではベスト3から外れました。また、「生き物に関する調査、外来種対策」が、今回調査より新たに男性の3位と女性の2位に入ってきました。

年齢別では、「ポイ捨てや不法投棄の抑止」が全世代共通して1位でしたが、20～30歳代では「生き物に関する調査、外来種対策」も同率1位でした。また、50～60歳代では「重点プロジェクト① 里山を保全するしくみづくり」が3位までにあげられるなど、世代間で市へ期待する施策が多少異なっていました。

居住区別では、全地区で1位が「ポイ捨てや不法投棄の抑止」、2位が「生き物に関する調査、外来種対策」と、全地域共通の問題意識を示すものでした。ただし、新市街地では「良好な街並みや景観の形成促進」も同率2位だったことが、多少の地域性を反映した回答となっていました。

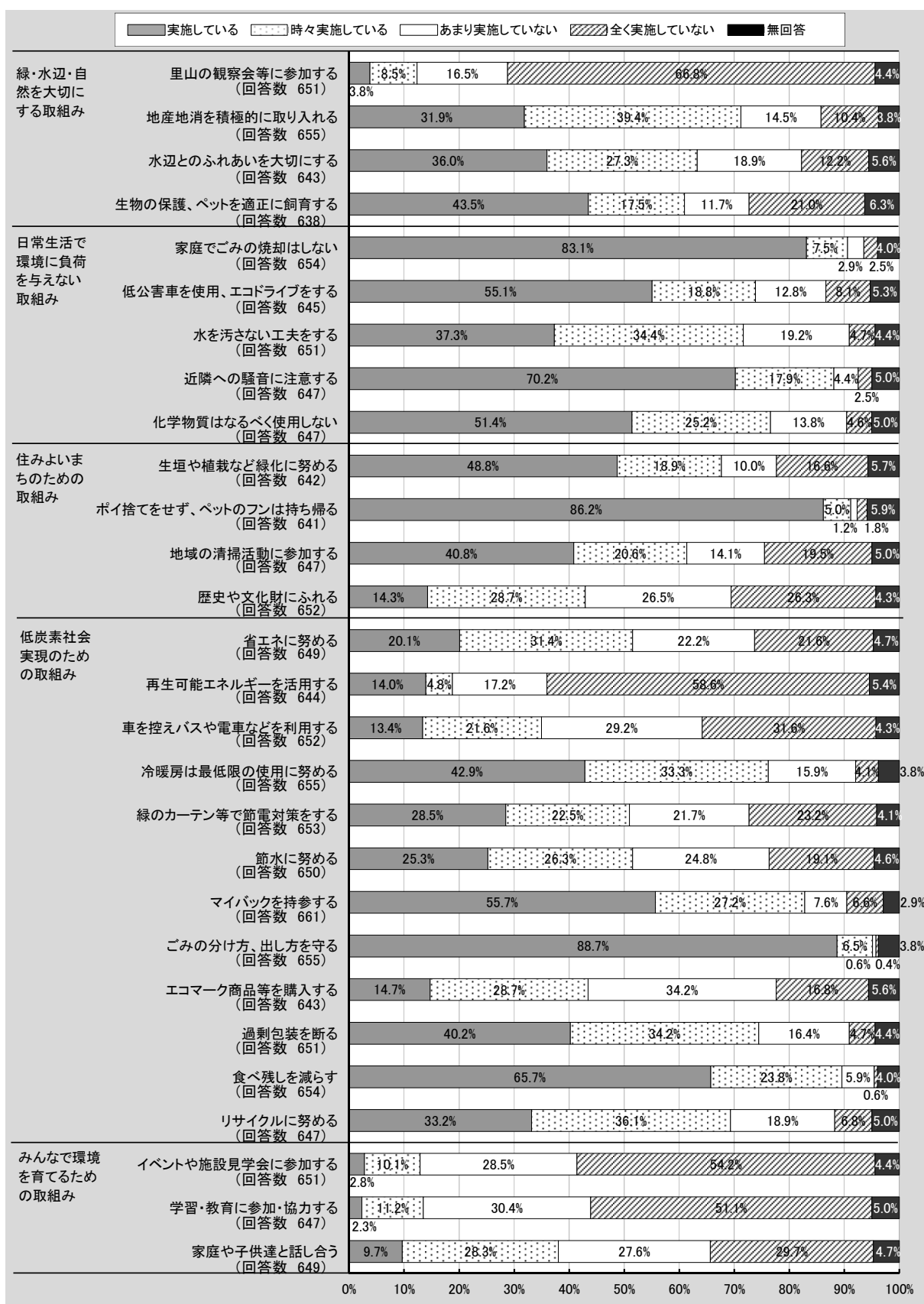
4 環境行動への取り組みについて

環境行動への取り組み状況（次頁参照）を見ると、「日常生活で環境に負荷を与えない取り組み」は5項目中4項目、「住みよいまちのための取り組み」は4項目中1項目、「低炭素社会実現のための取り組み」は12項目中3項目で、半数以上の方が『実施している』と答えていました。とくに、「家庭でごみの焼却はしない」「ポイ捨てをせず、ペットのフンは持ち帰る」「ごみの分け方、出し方を守る」は8割以上の方が実施しており、日常生活の中で行動が定着していました。

一方、「緑・水辺・自然を大切にする取り組み」や「みんなで環境を育てるための取り組み」は『実施している』が半数以上の取組はありませんでした。「みんなで環境を育てるための取り組み」については、『時々実施している』を含めても実施割合は低く、引き続き環境活動への参加促進を図っていく必要があります。

問4 環境の行動について、あなたは普段以下のようなことを行っていますか。

(各1つ選択/4選択肢)



5 自由意見

問5 印西市の環境に関するご意見、ご要望、取り組みを進めるにあたってのアイデアなどがあればご記入ください。(記述式)

回答数 281 (197人)

分類(意見数)		主な意見
交通 (37)	公共交通 (24)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ バス停の増設には感謝している ➢ バスの本数が少なすぎる、ふれあいバスの本数を増やしたりもっと遅い時間帯にも運行してほしい ➢ 北総線運賃が高すぎて負担が大きい ➢ 草深の原など、市街化調整区域の方面にもふれあいバスの運行をしてもらいたい ➢ 車を持っていないので買い物へのショッピングモール巡回バスをもっと増やしてほしい ➢ 牧の原駅の北側にもバス路線を拡大してほしい ➢ ニュータウン中央～木下駅～牧の原などの公共交通を充実してほしい(増便、ルート拡大)
	道路整備 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 小林駅は新しくなったが、南口の整備を早く行ってほしい ➢ 田舎の方の道路等もきれいにしてもらいたい ➢ 大型車両の乗り入れの道路損壊にも取り組んでほしい ➢ 水道工事後の舗装をしっかりとしてほしい ➢ 近くに保育園ができたが横断歩道がない、建設する際には通園のことも考え計画してほしい
	交通環境 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 車の路上駐車が多い ➢ 猛スピードで走る車が多くなり恐ろしい、車の運転のマナーが悪い ➢ 印西牧の原の道路が混んでいて生活がしにくい ➢ 草深の国道 464 号バイパスから上がる道は大渋滞を引き起こすので使っていない
廃棄物 (29)	分別・処理 (28)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 店舗にリサイクルペットボトル、古紙等の回収を呼び掛けている ➢ 再利用の推進に力をいれてほしい ➢ ゴミの出す日を守らない人が多い、とくにビン・カン ➢ ゴミの分別をもっと細かくすればゴミが減るのではないか ➢ 会社事業所では紙等仕分けしないで燃えるゴミと一緒にして出しているため、事業所に協力してもらえばゴミの減量化がすすむのではないか ➢ 夏場の生ごみの収集を週 3 回に増やしてほしい ➢ ゴミ袋の大きさによって線を入れるなりしてすぐわかるように改良してほしい、同じ色でわかりにくい ➢ ゴミ袋のサイズを充実してほしい ➢ ごみ袋に番地や部屋の番号等を記入するなどして、少し厳しくてもよいのではないか ➢ ゴミの出し方が変わったときの広報を徹底してほしい、市職員が分担して朝の出す時間に巡回するなどしてほしい ➢ さんあーんというアプリを活用し捨て方のわからないものを調べたりしている、スマホを活用して取り組めることがあればもう少し関心が持てると思う ➢ 近隣の市町村に比べてゴミ出しゴミ収集はかなり良いと思う
	クリーンセンター (1)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ クリーンセンターの移設をスピードアップしてほしい

分類(意見数)		主な意見
都市環境 (54)	まちの緑 (32)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ もっと緑を増やしてほしい ➢ 宅地化が進み、大きな木はほとんど伐採されてしまいさみしい ➢ 道路の雑草が刈られず横断橋部は歩行者が認知できないほどひどい、道路幅が狭くなり安全上も非常に問題がある ➢ 砂埃がひどいため更地をなるべく減らすため緑化をすすめてほしい ➢ 街路樹は剪定を必要としない樹種を選ぶべきである、また調整区域の道路には街路樹は必要ないと思う ➢ 結実する前に雑草を刈るなど、刈る時期にも配慮してほしい ➢ 家の植木が道路にはみ出している樹木の剪定を促してほしい ➢ 市の緑化のため、市の土地である住宅内の花壇に花等を育てている、市民が管理できるよう助成してほしい
	まちの美化 (22)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 池の整備が不十分 ➢ 犬のフンの始末がされていない、ニオイがひどくて困っている ➢ 歩きタバコ、タバコのポイ捨てが多い ➢ 国道 464 号沿いの大塚地区トンネル付近のゴミのポイ捨てがひどい ➢ 地域のクリーン活動のほか、自主的に清掃活動をしている ➢ 掃除用具の貸し出しをしてほしい ➢ 何年も廃墟になっている建物があり、市から持ち主に声掛けしてほしいにできるようにしてほしい
自然環境 (25)	自然との共生(23)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人間よりも野生の生き物が住みやすい環境を目標にして欲しい ➢ 子育て中、印西市で暮らせることに喜びを感じている ➢ メダカの姿が見れなくなった ➢ イノシシやハクビシン等の害獣が増えている、駆除してほしい ➢ 自然の植物が豊富で希少種も多く見られるが、その保護活動が全く行われていない、もっと里山の保全に取り組んでほしい ➢ 環境に詳しい人材を育成して環境保護に取り組んでほしい ➢ タヌキなどの野生動物の自動車事故を防ぐため、里山等の野生生物が生息している付近の道路に「動物注意」の看板を立ててほしい ➢ 印旛沼周辺の不法投棄の取り締まり強化・外来生物の駆除・農薬の環境配慮・流れの改善等、印旛沼という水質源を大切にすべき ➢ ムクドリ対策をしてほしい
	その他 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 耕作放棄の田畑はこれからますます増えると思う、農業政策だけでなく環境政策においても重要課題にすべき
開発 まちづくり (34)	都市整備 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 街灯が少ない ➢ 木下商店街を活発にしてほしい ➢ 子供が安心して遊べる場所、施設を作ってほしい ➢ 市街化調整区域の開発の抑制、環境破壊を防ぐための施策づくりと今ある自然環境の維持管理を優先してほしい ➢ これ以上住宅を増やすより、今ある自然を守り住みよさNo.1 の印西市を続けてほしい ➢ 廃業した店舗(ガソリンスタンド)は早期に整備してもらいたい ➢ 市が所有する森林に自然体験型アトラクションを導入してはどうか ➢ 印旛沼周辺に道の駅を作ってはどうか
	景観 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅周辺など美しい夜間景観をつくってほしい ➢ 電線によって景観が損なわれている ➢ 自然を生かした趣のある街並みにしてほしい

分類(意見数)		主な意見
環境教育 環境学習 参加・協働 (22)	環境教育 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 空き缶などを捨てる子供たちが多く、幼い時からの教育が必要 ➢ 緑の保全や街に調和した景観づくりについて、公募による市民参加型の研究会を作ってほしい ➢ 市民が多く集まるショッピングモールで教育を中心としたイベントを開催して市民の環境意識を高める(土日祝日に開催する)
	情報提供 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 環境に関する情報が届かない、どのようなことが環境に良いのかわからない ➢ 新聞の購読をやめたら広報紙が届かなくなった ➢ 計画的都市作りの全体像が知りたい ➢ 環境や対処すべき問題を市民に公表してほしい
	イベント (11)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 祭りの時に、市の取り組みを紹介するブースを出すとよい ➢ ゴミの減量コンテスト等一般家庭でも参加しやすい楽しいイベントを実施してほしい ➢ 環境を守るイベントや観察会に参加したい ➢ 夏祭りが少なく印西の文化に触れる機会がすくない ➢ 環境をテーマに花火大会を開催してほしい ➢ 将来的には子供にも自然とたくさん触れ合ってもらいたいので、植林への参加など市民が参加できるイベントが増えてくれると良い ➢ 子供がもっと自然(ザリガニやカブトムシ、ほたる etc)に触れるイベントを企画してほしい ➢ 植樹など経験できると子供も興味が湧くと思う
生活環境 (16)	公害 (14)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅周辺での喫煙対策を強化してほしい ➢ 市内を走っている路線バスが古く、ディーゼルの排ガスが臭い ➢ 住宅地の中での悪臭、汚れた場所なども見廻してほしい ➢ 近所で、趣味なのか物作りの音(機械)が不快 ➢ 市街化調整区域の在り方(ヤード、瓦礫置き場などの騒音・悪臭等)について、市の監視と指導をしてほしい ➢ 野焼きを厳しく取り締まってほしい ➢ 「若萩交差点」周辺で週末になると現れる暴走族がうるさいので対策してほしい ➢ 道路の振動対策で改善要望を出したが、費用がかなりかかるということで対応してもらえない、予算に計画的に組み入れ、適切に対応してほしい ➢ 国道 464 号沿いの交通量増加、大気汚染、騒音振動、排ガス、渋滞などの問題が生じないように、早めの対策をお願いしたい ➢ 印旛沼の汚染が気になる、気温の上昇と共に水の色が濃くなり悪臭もする
	上下水道 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ NT 地区の環境整備に力を入れすぎているように感じる、地元の少し裏の通りなどは上下水道も整備されていない ➢ 下水道の本管の延長をしてもらいたい
放射能関連(1)		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 放射線物質による汚染(水道水)等が気になるので、正確な情報が知りたい

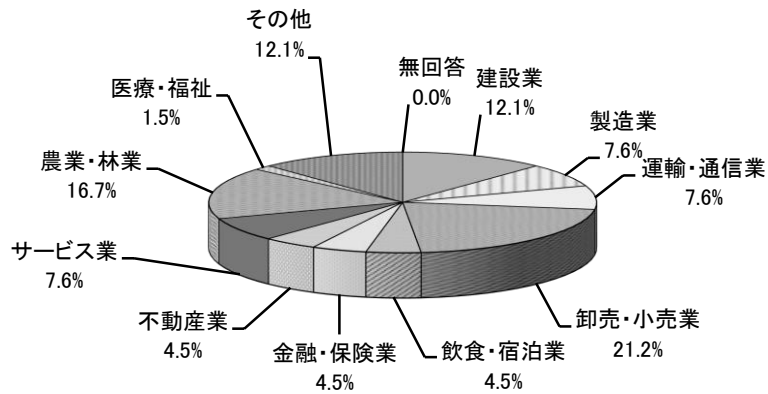
分類(意見数)		主な意見	
公園	(19)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ムリに公園を造る必要はない ➢ 近所の公園では、花が咲き始めると草刈によってすべて刈られ、花を楽しむことができない、時期と程度を考えてほしい ➢ 滝野近くの里山のそばにできた緑地をドッグランにしてほしい ➢ 公園の点検、見回りをもっと回数を増やしてほしい、昔より汚くなっている気がする ➢ 樹木を植えて日影を作してほしい ➢ 松虫姫公園の親水広場を夏季限定でしてほしい ➢ 公園に健康管理のためアスレチックを作してほしい ➢ 滝野公園の緑化(芝を養生する等)にもう少し注力してほしい ➢ 草深地区は子育て世帯が増えてきているのに公園が1つもない ➢ 市内ひょうたん池公園内の白蓮華群に古代蓮の華を植えてほしい(千葉県で発見された大賀古代蓮) ➢ 遊具のある公園が少ない 	
行政への要望	(23)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 印西市として取り組んでいることがよくわからない、積極的に広報活動してほしい ➢ 10~20年前に比べ市の環境は激変している、行政はそろそろ商業ベースの視点を変えた方がよいのではないか ➢ 市民だけでなく公務員(特に市役所の職員)が車に乗らないで公共交通機関を利用すべき ➢ 印西市といっても都市部と古村の考え方が違い、それぞれの地域に合った方向性を示して実施し、成果について地道に広報してはどうか ➢ 市から専門家を派遣して勉強会や保全活動を実施してほしい ➢ すぐに対処してもらえず、不誠実な職員の対応に不満を持っている ➢ 残すべき自然を明確に区分し図化して、あるべき市の取り組み方を示してほしい ➢ 印西市中心部以外の人口の増加を目指し、空き家の活用と未婚者への婚活斡旋、若者が地元に残る魅力ある街づくりをしてほしい 	
	アンケート	(4)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ この意識調査でどんな結果がみえてくるのか知りたい、環境についての取り組みについては、どれも重要だと思う ➢ 市の目標達成度を記載してあると回答しやすい ➢ 過去のアンケート結果とそれをどう活かしてきたかわかると良い
その他	エネルギー	(5)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 太陽光発電を実施するなど、エコ活動を行っている ➢ 商業施設に電気自動車の充電スポットを設置拡大、自宅で充電可能とする工事費の助成を振興してみてもどうか ➢ 住宅の省エネリフォーム等への助成額を増やしてほしい
	病院・施設	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 公共の建物なのにトイレ設備がよくない、高齢者には和式は不便
	地域格差	(7)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ニュータウン方面ばかり住みやすくしているように感じるが、旧市街にも、もう少し目を向けるべき、街の開発に格差を感じる ➢ 一部の地域にばかり力を入れるのは不平等に感じる
	その他	(8)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自転車・原付バイクの盗難の頻度が多い、不審者が多い ➢ NT 中央の南地域(戸神台)は民間の集合住宅が多く、住民主体の管理自治の意識が低い ➢ 井戸水の検査を定期的に行ってほしい ➢ 放置自転車が多くなった ➢ 文化財の公開を積極的にやってもらいたい

事業者意識調査の結果

1 事業所の属性

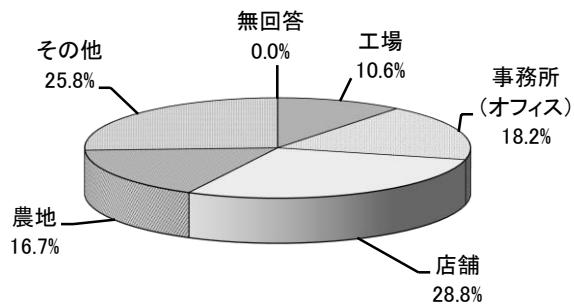
問1-1 貴事業所の業種は何ですか。(1つ選択/11選択肢)

回答数 66社



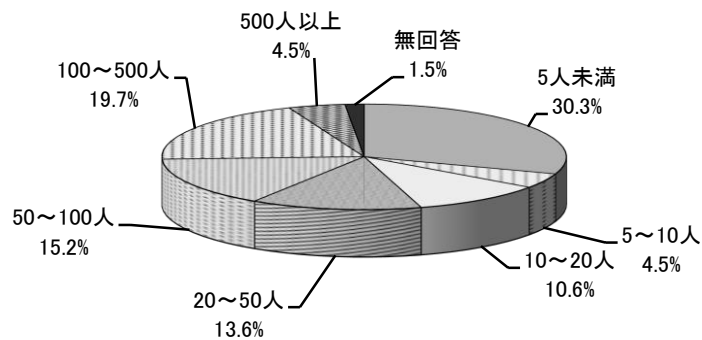
問1-2 貴事業所の事業形態は何ですか。(1つ選択/4選択肢)

回答数 66社



問1-3 貴事業所の従業員数は何人ですか。(1つ選択/7選択肢)

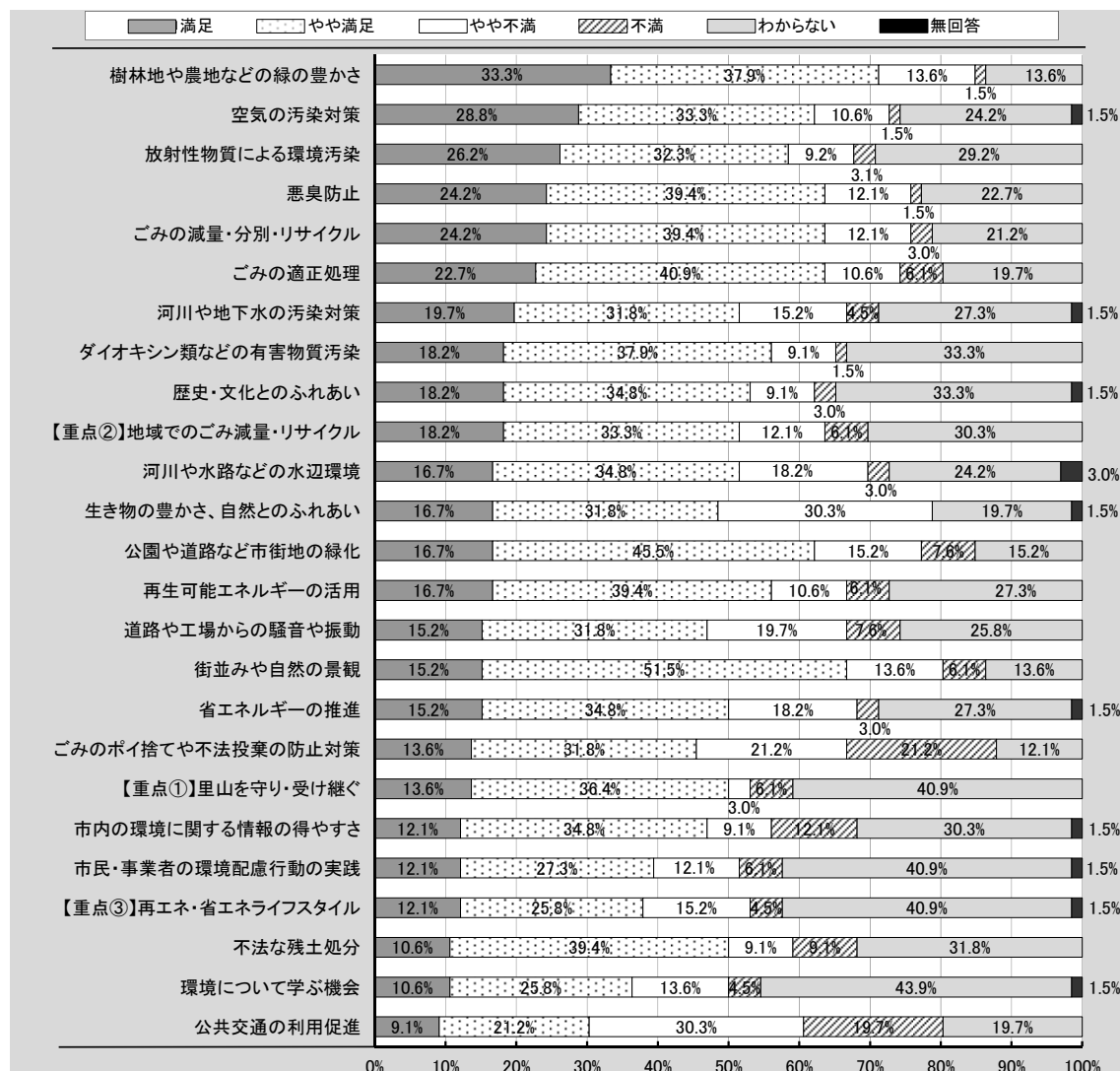
回答数 65社



2 印西市の環境について

問2 貴事業所では、印西市の環境に満足していますか。
また、その環境を保全、対策することがどの程度重要だと思いますか。
(1つ選択/5選択肢)

○満足度

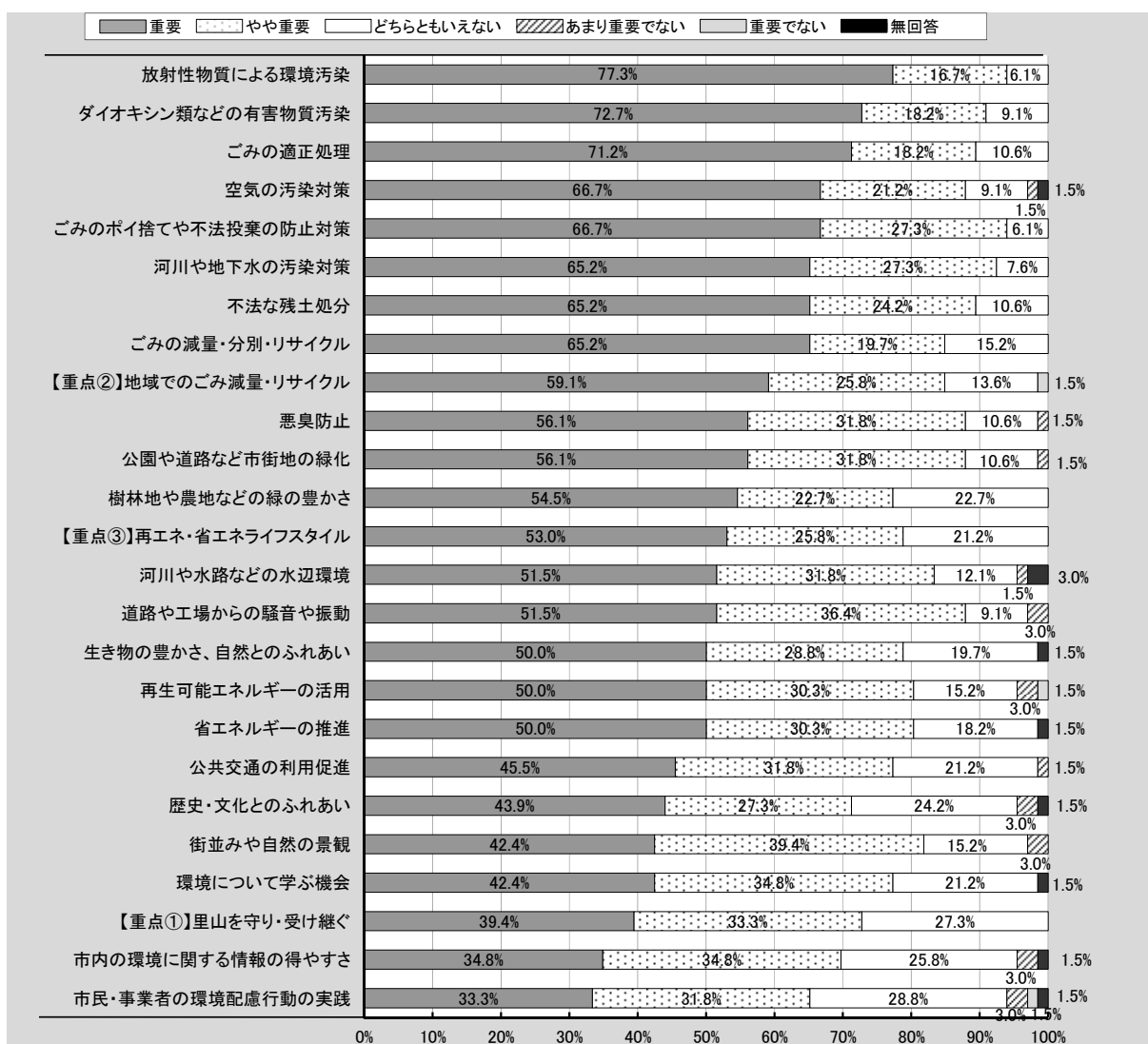


※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「樹林地や農地などの緑の豊かさ」は、『満足』『やや満足』の回答が7割を超えていました。また、「街並みや自然の景観」では『やや満足』の回答が5割を超えたほか、悪臭・ごみ処理に関する項目で満足の割合が高い結果となりました。

一方、「公共交通の利用促進」「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」で、『やや不満』『不満』の割合が高くなっていました。

○重要度



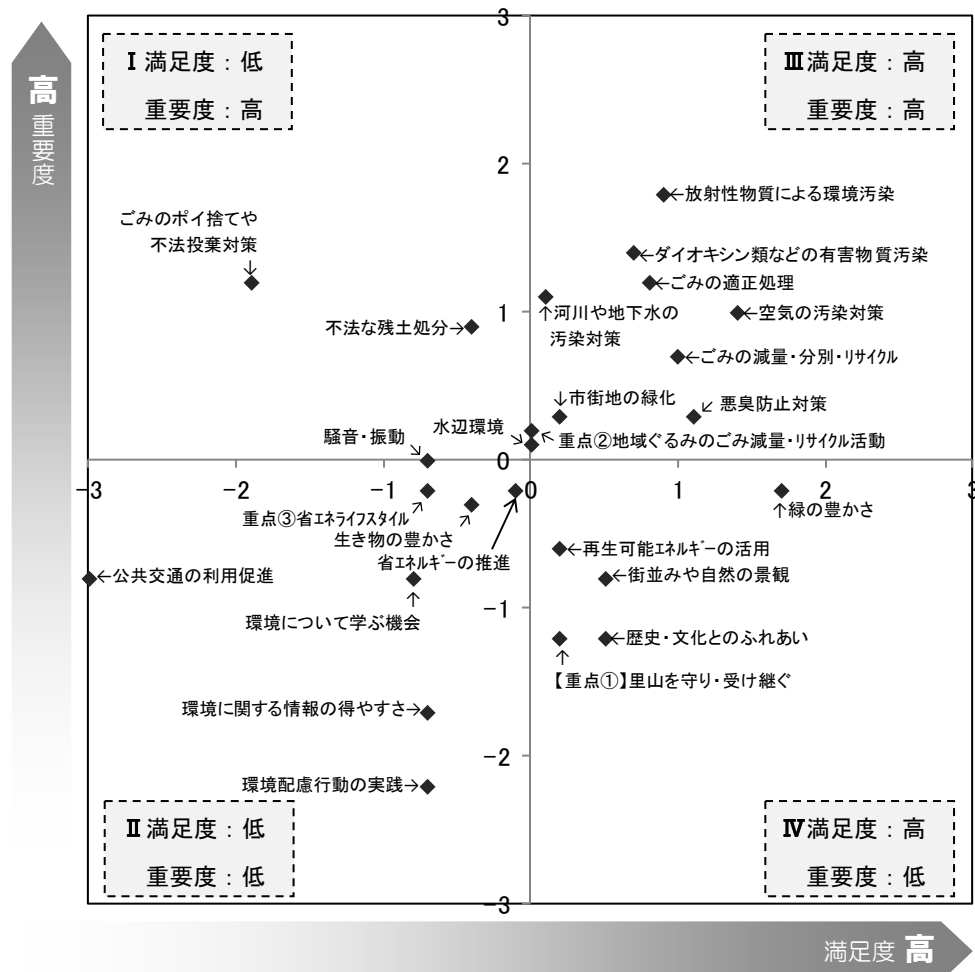
※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「放射性物質による環境汚染」「ダイオキシン類などの有害物質汚染」「ごみの適正処理」は『重要』の回答が7割以上でした。

一方、「市内の環境に関する情報の得やすさ」「市民・事業者の環境配慮行動の実践」「街並みや自然の景観」のほか、市の環境基本計画における重点プロジェクトでもある「里山を守り・受け継ぐ」は他の項目と比べて重要という回答が少ない結果でした。

○満足度・重要度マップ

各項目の満足度と重要度から標準化得点マップを作成し、グループ化しました。



I. 重点改善項目（満足度が低く、重要度が高いグループ）

「不法な残土処分」「ごみのポイ捨てや不法投棄対策」

II. 改善項目（満足度が低く、重要度が低いグループ）

「生き物の豊かさ、自然とのふれあい」「道路や工場からの騒音・振動」「省エネルギーの推進」
「公共交通の利用促進」「環境について学ぶ機会」「環境に関する情報の得やすさ」
「市民・事業者の環境配慮行動の実践」「重点③再エネ・省エネライフスタイル」

III. 重点維持項目（満足度が高く、重要度も高いグループ）

「河川や水路などの水辺環境」「空気汚染対策」「河川や地下水の汚染対策」「悪臭防止対策」
「ダイオキシン類などの有害物質汚染」「ごみの適正処理」「ごみの減量・分別・リサイクル」
「公園や道路など市街地の緑化」「放射性物質による環境汚染」
「重点②地域ぐるみでのごみ減量・リサイクル活動」

IV. 維持項目（満足度が高く、重要度は低いグループ）

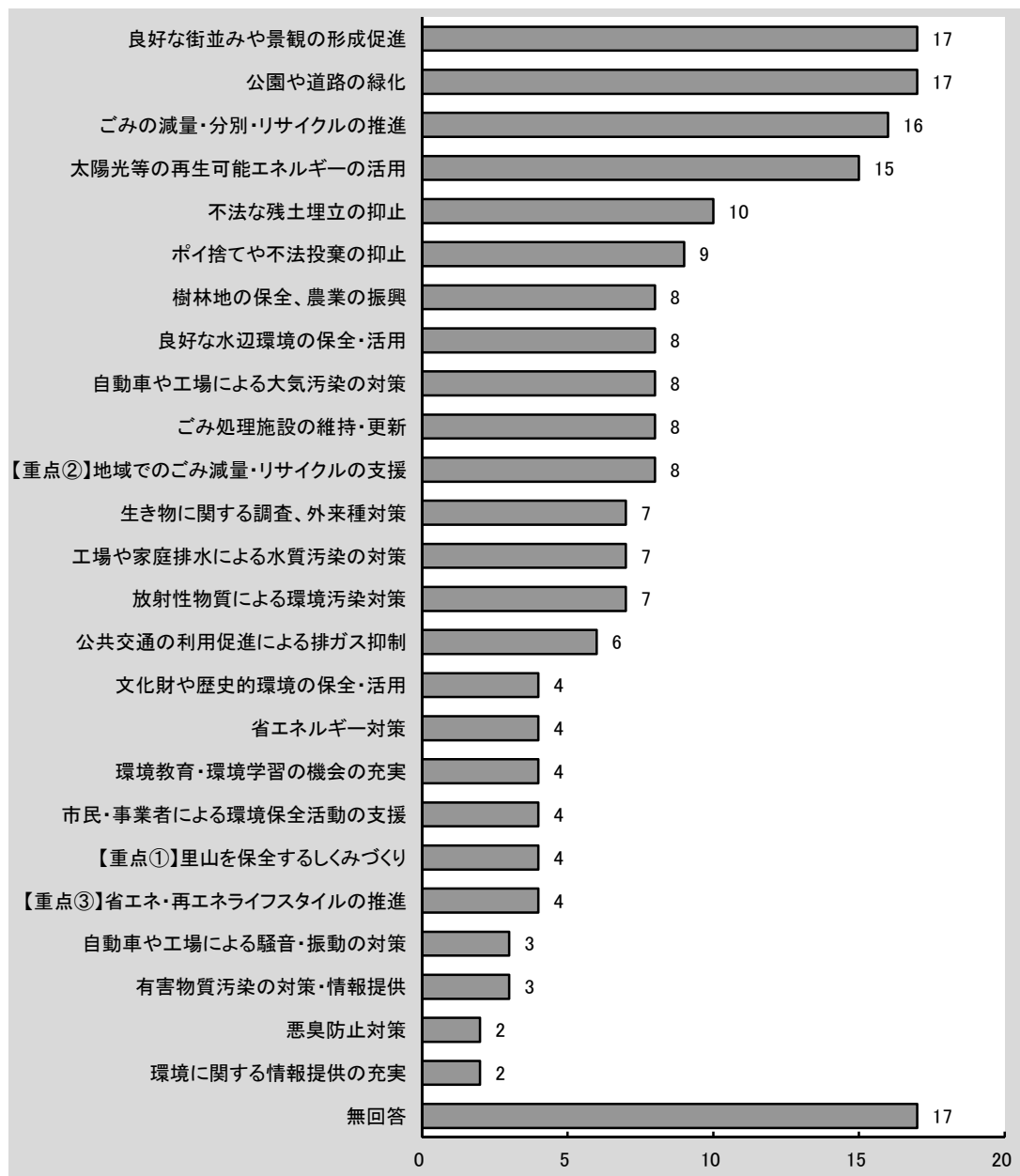
「樹林地や農地など緑の豊かさ」「街並みや自然の景観」「歴史・文化とのふれあい」
「再生可能エネルギーの活用」「重点①里山を守り・受け継ぐ」

3 市の取り組みについて

問3 現在、市が取り組んでいる環境施策のうち、ここ数年でよくなったと感じる施策と、今後とくに力を入れてほしいと考える施策はなんですか。
(5つ選択/25選択肢)

○ここ数年で良くなった施策

回答数 185 (49社)

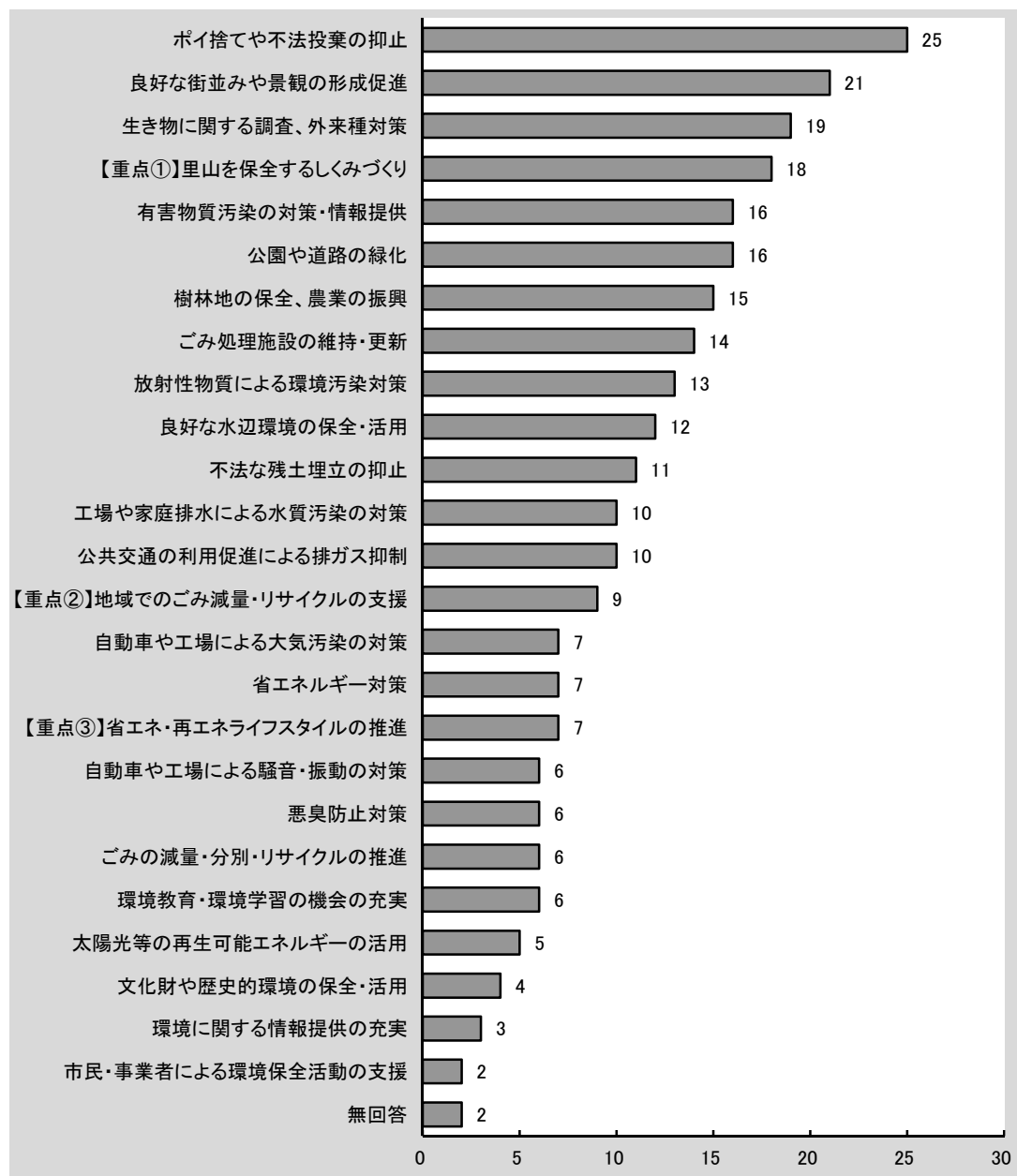


※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

最も意見の多かったのは「良好な街並みや景観の形成促進」「公園や道路の緑化」となり、次いで「ごみの減量・分別・リサイクルの推進」「太陽光等の再生可能エネルギーの活用」が多くあげられました。

○今後力を入れてほしい施策

回答数 268 (64社)



※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

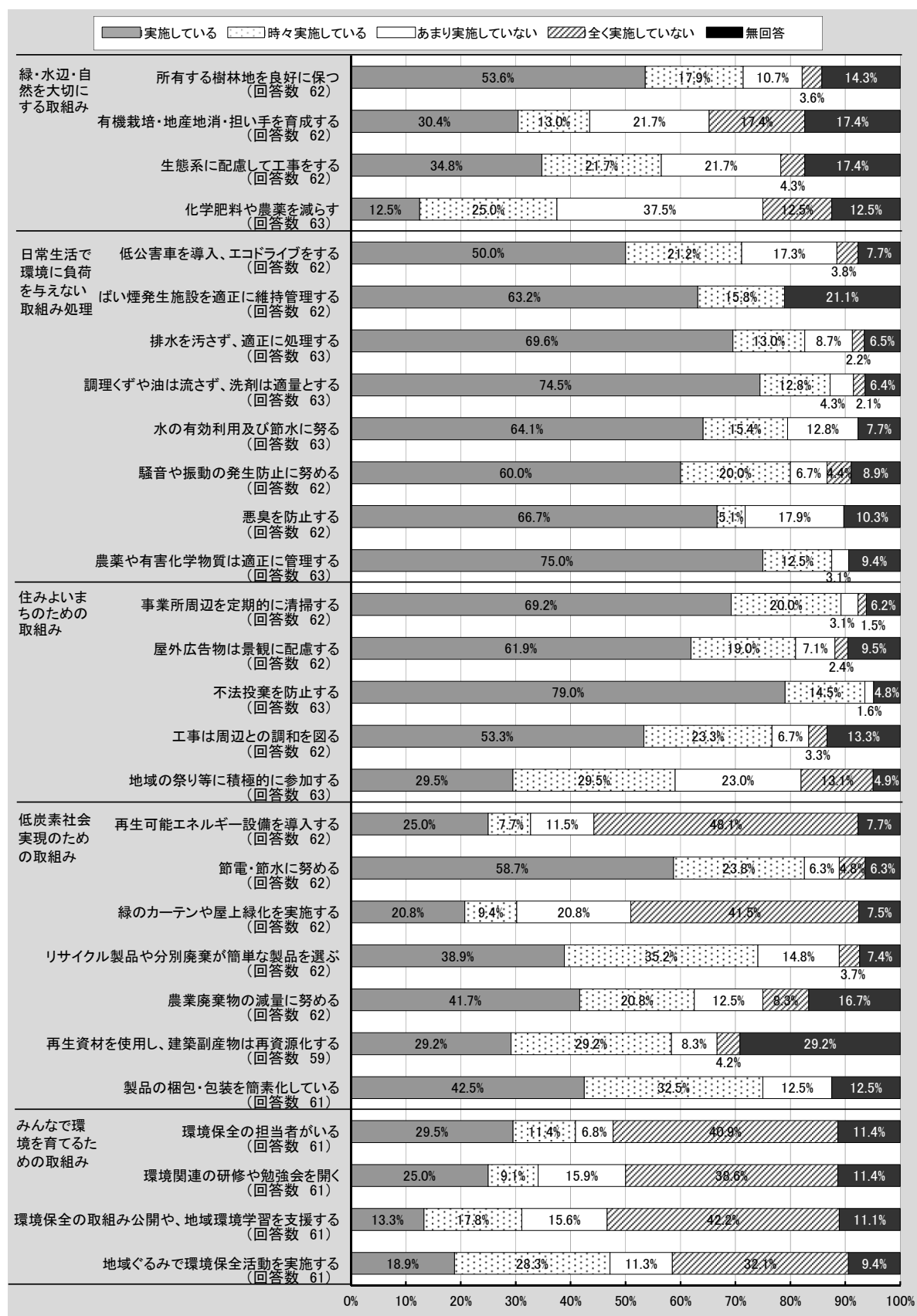
今後、力を入れて欲しい施策として、「ポイ捨てや不法投棄の抑止」が多い結果となりました。次いで、「良好な街並みや景観の形成促進」「生き物に関する調査、外来種対策」と、市民意識調査においても回答の多かった項目があげられました。

4 環境行動への取り組みについて

事業所における環境行動への取り組み状況（次頁参照）を見ると、「緑・水辺・自然を大切にす
る取り組み」は4項目中1項目、「日常生活で環境に負荷を与えない取り組み」は8項目中全項目、
「住みよいまちのための取り組み」は5項目中4項目、「低炭素社会実現のための取り組み」は7
項目中1項目で、半数以上の方が『実施している』と答えていました。とくに、「調理くずや油は
流さず、洗剤は適量とする」「農薬や有害化学物質は適正に管理する」「不法投棄を防止する」は
7割以上となっており、事業所内で取り組みが日常的に実施されていました。

一方、「緑のカーテンや屋上緑化を実践する」や「環境保全の取り組み公開や、地域環境学習を
支援する」は『時々実施している』を含めても3割程度の実施割合となりました。

問4 貴事業所では以下のような環境行動を実践していますか。（各1つ選択／4選択肢）



5 自由意見

問5 印西市の環境に関するご意見、ご要望があればご記入ください。（記述式）

回答数 7社

主な意見
<ul style="list-style-type: none">・ 使うかもわからない建物を立ててどうするのか気になる・ ゴミ袋をもっと安くしてほしい。そうしたらきちんと分別してゴミを捨てる者が増えると思う・ 日本有数の自然の宝庫である千葉ニュータウン中央駅～印西牧の原駅周辺がどんどん開発され、自然が破壊されていることに強い憤りを覚えると伴に行政への働きかけの施策を期待する・ 公共交通機関の便が良いとは言えないので環境面など考えると強化してもらいたい。自家用利用を減らし、限りある資源を大切にしてほしい・ 住宅地を作らないことが環境保全につながると思う・ 関心がある人とない人がはっきり分かれる事なので、関心のない人への意識向上を促進し、環境保全の意識を持った人を増やして行こうと考え行動していきたい・ 道路際の清掃、草刈りなど徹底していただきたい・ 市内道路の街灯のエコ化(LED化)・ 市内公共施設(町内集会場、青年館など)内のLED化及び家電用品についての買い換えの補助をしてほしい・ 自然や緑地が多いすばらしい環境の印西市だが、近年国道464号沿いの商業施設オープンに伴い週末の市外・県外利用者が増加し、交通渋滞、ゴミの不法投棄が目立つので、ゴミ処分、ペットのフン等の飼い主のモラルを高める取り組みをお願いしたい・ 街路灯がうす暗かったり、切れていることがあり、危険なため改善してほしい